

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組
 教科担当： (A組：) (M組：) (I組：) (G組：) (D組：)
 使用教科書： (『詳述歴史総合』実教出版)

教科 地理歴史 の目標：
 【知識及び技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や世界の地理・歴史とつながっていることを理解している。
 【思考力、判断力、表現力等】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの地理・歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の地理・歴史との関連性について考察し、表現している。
 【学びに向かう力、人間性等】 地理・歴史を学ぶ意義や目的、地理・歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

科目 歴史総合	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。	近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。	「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 単元 近代化への胎動 【知識及び技能】 近代化の概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化の概念理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の概念を理解するために主体的に取り組ませる。	交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用する。	【知識及び技能】 近代化の概念を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化の概念理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の概念を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	B 単元 欧米の市民革命と国民国家の形成 【知識及び技能】 市民革命と国民国家の概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命と国民国家の概念理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命と国民国家の概念を理解するために主体的に取り組ませる。	産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表す。	【知識及び技能】 市民革命と国民国家の概念を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命と国民国家の概念理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命と国民国家の概念を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 単元 アジアの変容と日本の近代化 【知識及び技能】 日本の近代化の特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の近代化の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の近代化の特質を理解するために主体的に取り組ませる。	産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識及び技能】 日本の近代化の特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の近代化の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の近代化の特質を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	
	D 単元 帝国主義の時代 【知識及び技能】 帝国主義の特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義の特質を理解するために主体的に取り組ませる。	帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識及び技能】 帝国主義の特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義の特質を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	E 単元 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦と大衆社会の特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦と大衆社会の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦と大衆社会の特質を理解するために主体的に取り組ませる。	第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識及び技能】 第一次世界大戦と大衆社会の特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦と大衆社会の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦と大衆社会の特質を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	F 単元 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 経済危機と第二次世界大戦の特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 経済危機と第二次世界大戦の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 経済危機と第二次世界大戦の特質を理解するために主体的に取り組ませる。	第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識及び技能】 経済危機と第二次世界大戦の特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 経済危機と第二次世界大戦の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 経済危機と第二次世界大戦の特質を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
	G 単元 国際連合と戦後世界 【知識及び技能】 国際連合と戦後世界の特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際連合と戦後世界の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際連合と戦後世界の特質を理解するために主体的に取り組ませる。	第二次世界大戦後、人々はどうのような世界をつくりあげようとしていたのか、多面的・多角的に考察する。 大戦後の国際連合の設立とブレトン・ウッズ体制を考える。 大戦後のヨーロッパ諸国の状況を考える。	【知識及び技能】 国際連合と戦後世界の特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国際連合と戦後世界の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際連合と戦後世界の特質を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	I 単元 冷戦と脱植民地化 【知識及び技能】 冷戦と脱植民地化の特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と脱植民地化の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦と脱植民地化の特質を理解するために主体的に取り組ませる。	地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現する。	【知識及び技能】 冷戦と脱植民地化の特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と脱植民地化の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦と脱植民地化の特質を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	7	
	J 単元 多極化する世界 【知識及び技能】 多極化する世界の特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 多極化する世界の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 多極化する世界の特質を理解するために主体的に取り組ませる。	アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識及び技能】 多極化する世界の特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 多極化する世界の特質理解を踏まえ、思考・判断・表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 多極化する世界の特質を理解するために主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
	定期考査			○	○		1	
							合計	72

年間授業計画

高等学校 令和7年度 (3学年) 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科: 地理歴史 科目: 地理総合 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 3 学年 A 組 ~ D 組
 教科担当者: (A組:) (M組:) (I組:) (G組:) (D組:)
 使用教科書: (『地理総合』実教出版)

教科 地理歴史 の目標:
 【知識及び技能】私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や世界の地理・歴史とつながっていることを理解している。
 【思考力、判断力、表現力等】近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの地理・歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の地理・歴史との関連性について考察し、表現している。
 【学びに向かう力、人間性等】地理・歴史を学ぶ意義や目的、地理・歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

科目 地理総合 の目標:	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の地理・歴史とつながっていることを理解している。	近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の地理・歴史との関連性について考察し、表現している。	「地理総合」を学ぶ意義や目的、地理的・歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「地図や地理情報システムでとらえる現代世界」 【知識及び技能】地図の読図の基本的な知識方法を身に付ける。地理情報システムを用いて、自ら活用できる技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】読図・地理情報システムの活用から、得た情報をどのように表現するかを身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。	【指導項目】 ・地図や地理情報システムをどのように活用できるか、またそこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材 教科書、地図帳、資料集など ・一人1台端末の活用 等	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 単元「生活文化の多様性と国際理解」(グループ1~3) 【知識及び技能】世界の人の生活文化についてそれぞれの特色が地理的環境の影響を受けていることを知り、それぞれの特色について基本的知識を修得する。【思考力、判断力、表現力等】世界の人の生活文化についてそれぞれの特色について、比較の視点から差異について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。	【指導項目】 ・世界の人の生活文化についてそれぞれの特色についての基本的知識を修得する。文化の多様性の意義について、現在の厳しい国際情勢を踏まえて考えさせる。 ・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材 教科書、地図帳、資料集など ・一人1台端末の活用 等	①世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。②世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 単元「生活文化の多様性と国際理解」(グループ4~5) 【知識及び技能】世界の人の生活文化についてそれぞれの特色が地理的環境の影響を受けていることを知り、それぞれの特色について基本的知識を修得する。【思考力、判断力、表現力等】世界の人の生活文化についてそれぞれの特色について、比較の視点から差異について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。	【指導項目】 ・世界の人の生活文化についてそれぞれの特色についての基本的知識を修得する。文化の多様性の意義について、現在の厳しい国際情勢を踏まえて考えさせる。 ・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材 教科書、地図帳、資料集など ・一人1台端末の活用 等	①世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。②世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	D 単元「地球的課題と国際協力」 【知識及び技能】地球環境問題・人口食糧問題・エネルギー問題などの基本的知識を学ぶ。【思考力、判断力、表現力等】知識を踏まえ、日本と世界の状況を比較しながら問題の所在を探し、今後の対策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】様々な情報を取捨選択しながら、グループで協働して解決策を導き出す模索をする。	・地球環境問題・人口食糧問題・エネルギー問題について基本的知識を修得する。 ・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材 教科書、地図帳、資料集など ・一人1台端末の活用 等	①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1	

<p>E 単元「持続可能な地域づくりと私たち」</p> <p>【知識及び技能】日本の地形や気候について知り、災害の特徴や対策について基本的知識を学ぶ。【思考力、判断力、表現力等】地図やグラフなどの史料を読み取り、日本の置かれている状況を認識し今後の対策を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。</p>	<p>・日本の地形や気候、地震などの災害について基本的知識を修得する。</p> <p>・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。</p> <p>・教材 教科書、地図帳、資料集など</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との間わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術を身に付けている。②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との間わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
合計						
70						
定期考査			○	○		1